

特集：サツマイモと虫たち

骨格等を持ち運動性を獲得した動物は、従属栄養生物となり、その主な栄養源を植物に求めます。無脊椎動物である昆虫類も例外ではありません。ある種の昆虫がその進化の結果、栄養源としてサツマイモを食草とし、人間側からは栽培植物が食害される結果となります。本特集ではサツマイモを食害する昆虫類について科学してみました。希少ですが、役に立つ虫もいるようです。しかし、それを蛋白源として食べる世が来ないことを祈る気持ちもあります。

1. 持田 作：

サツマイモとそれを巡る虫たち

日本におけるサツマイモの害虫は約52種（昆虫類39種、線虫類9種、ダニ類3種など）、それら虫の食性一覧を作成頂いた。凶悪害虫は昆虫類に多く、サツマイモを含むヒルガオ科の植物を食草とするようです。代表的な害虫について生態・被害状態を解説頂いた。

2. 安田慶次：

アリモドキゾウムシと イモゾウムシ

世界のサツマイモ主要栽培地域で最も被害の大きな害虫。日本では鹿児島県吐噶喇列島以南から沖縄県全域に生息する凶悪害虫です。その発生分布、被害との特徴、防除法などについて記述頂いた。

3. 木口憲爾：

実験動物としての エビガラスズメガ

昆虫を害虫として嫌い防除するだけではなく、実験動物として有用化する方向があります。動物としては珍しく内婚弱勢がなく、継代培養が容易なことが解明され、エビガラスズメガそのカイコとの生物的類似性から実験動物としての有用性が高まっています。蛋白源として宇宙食の可能性も。